

八王子

サークル

かわらばん 50

子どもたちの好奇心

先月の会で紹介した“えらんだ魚は”を、さっそく授業で取り上げたという話がありました。高橋さんが、小学校5年生の授業の様子について話してくれました。

まず、並んだ漢字に興味を示したとのこと。「5年生だと、漢字にも興味があるんですね」と高橋さん。続いて、皆が「鮪」を選んだことにびっくりして、その理由を考えた。で、「9の倍数になっている」ところまで気がついたとのこと。中には、初めに考える数を1桁や3桁にしたらどうなるかと考えだす子どももいた

とのこと、子どもたちの好奇心は健在です。

【おもちゃ箱】

よく知られた「タングラム」で楽しみました。いろいろな形を作ることにちょっと条件を付けてみます。(別紙資料) こうしてみると、けっこう面白い教材になりそうです。簡単そうで、なかなか手ごわいパズルです。

「タングラム」の名称の由来は何か話題になりました。1000年以上前に中国で作られたようです。「七巧板」「七巧図」「知恵の板」などと呼ばれていた。1800年代にヨーロッパに普及し、そこでつけられた商品名の一つが「タングラム」だったということで、この名称が現在使われているようです。日本には1700年代に紹介されました。日本では、7つに分ける別け方が変わった「清少納言知恵板」と呼ばれるパズルもあります。

【実践報告】

① 数の見方 (清末さん)

小学校5年生(だったと思うのですが)に、「3人は16000について次のような見方をしました。□にあてはまる数を書きましょう」という問題があります。「16000は、20000より□小さい数です」「16000は、10000と□をあわせた数です」「16000は、1000を□こ集めた数です」 続いて、それぞれの見方を式で表せという問題が出てきます。“数は、数の構成に基づいて、いろいろな見方や表し方ができることをとらえさせる”ことが目的なんだそうです。後半の“式で表す”ことに疑問が示されました。

② 小学校での分数 (清末さん)

小学校では分数がどのように取り上げられているかをまとめた報告です。2年生で初めて登場します。「もとの大きさの何分のいくつ」 3年生では「はしたの大きさの表し方を考える」、4年生では「分数ってどんな数」、5年生で「分数と小数、整数の関係」、「分数のかけ算とわり算」、そして6年生で再度「分数のかけ算とわり算」という流れになっています。大変だなー。

その他、板書の仕方まで指示する“授業スタンダード”も話題になりました。

(参加者4名)

今度は 9月25日(金) 18:30~20:30

八王子クリエイイトホール(10階) 第4学習室

(内容) おもちゃ箱(教具作り)と 実践報告

※事前の参加申し込みは不要です。近くの人をさそって、当日、直接会場においてください。

※会場費 100円

※問合せ先: 市橋公生 〒193-0803 八王子市檜原町980-145

TEL・FAX: 042-625-2286 Mail アドレス: kimio184@nifty.com

次回は、10月30日(金) 18:30~20:30 八王子クリエイイトホール(10階) 第4学習室